

令和5年度

学生によるオレンジリボン運動

法政大学 実施報告書



実施主体 法政大学 岩田美香ゼミ

実施内容 10月28日、虐待防止周知啓発イベントのお手伝い
多摩キャンパス 4 学部にてポスター掲示による啓発活動
他大学のオレンジリボン活動との情報交換会の実施
虐待について考える書籍の輪読と意見交換

①事前に取り組んだ内容

- ・子ども家庭福祉や児童虐待に関する現状や関連機関について学習した。
- ・オレンジリボン活動を行っている愛知県立大学村田ゼミとの交流会を法政大学にて実施し、情報交換を行った。
- ・滝川・内海編(2020)『子ども虐待を考えるために知っておくべきこと』日本評論社を輪読し、印象に残った部分や筆者の意見に対する賛成・反対意見等を全体で議論した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・法政大学多摩キャンパスにある 4 学部において、オレンジリボンのポスター掲示を依頼し、虐待防止の啓発を行った。
- ・10月28日に八王子「児童虐待防止推進月間」市民啓発講座 映画「こどもかいぎ」自主上映会における会場設営、受付、来場者の会場案内を行った。

③オレンジリボン運動を終えて…

虐待をしてしまう背景には経済的要因や社会からの孤立感などの様々な要因が複雑に絡み合って発生してしまうものであることを学んだ。以前は虐待を受けている子どもにばかり目が行き、親を非難してしまいがちだったが、虐待をしてしまう親に対する支援に焦点を当てることの重要性についても学んだ。

子どもの保護と同時に虐待する親に対する支援を深めるためにも、世代を超えた社会啓発の必要性と、支援する機関や支援する人たちの連携が必要であると思った。今後は、より広い枠組みで児童虐待を考える工夫を考えて行きたい。



【法政大学】 <https://www.hosei.ac.jp/>